

## ゼットスケラー、ワークロードとクラウド VDI を保護する 業界初のゼロトラスト イノベーションを発表

AWS ワークロード タグとのネイティブ統合 - ポリシーによる細かなセグメンテーション、マルチセッション VDI セキュリティ、クラウド カバレッジの拡大により、クラウド ワークロードのゼロトラスト セキュリティがさらにシンプルかつパワフルに

※本資料は、米カリフォルニア州にて 2023 年 11 月 8 日(現地時間)に発表したプレス リリースの日本語抄訳版です。

クラウド セキュリティ業界を牽引する [Zscaler](#) (NASDAQ: ZS、以下ゼットスケラー)は本日、ラテラルムーブメントの排除、運用コストと複雑さの軽減、一貫した脅威対策とデータ保護の確保により、クラウド ワークロード セキュリティを根本的に簡素化および改善する、Zero Trust Exchange™プラットフォームの新たなイノベーションを発表しました。今回新たに追加された機能により、きめ細かなゼロトラスト VPC セグメンテーションを可能にする AWS のユーザー定義タグとのネイティブ統合、クラウドベースの VDI のすべてのポートとプロトコルの検査、AWS GovCloud および中国リージョンのパブリッククラウドへの拡張が実現します。

パブリック クラウドが普及したことで大規模なデジタル トランスフォーメーションが可能になり、複数のパブリック クラウドまたはデータセンターの SaaS アプリケーションやワークロードを使用して機密性の高い通信とデータをホストするクラウドベースのワークロードが大量に流入しています。そのため、これらのミッションクリティカルなワークロードを保護することは、企業が機密データを保護し、継続的な成功を収めるうえで不可欠な要素となっています。IDG のレポート<sup>1</sup>によれば、クラウド管理とクラウド セキュリティのコスト増加に頭を悩ませる顧客は 35%を占めており、セキュリティを維持し、攻撃対象領域や運用上のオーバーヘッド、パフォーマンスなどの問題に対処しながら、クラウド ワークロードを保護することは、デジタル トランスフォーメーションを進める企業にとって大きな課題となりつつあります。

NOV の IT サービス担当バイス プレジデントであるパトリア・ゴンザレス・クラーク氏(Patricia Gonzalez-Clark)は次のように述べています。「世界のエネルギー業界のリーダーとして、NOV はパブリック クラウドを活用して、お客様が環境への影響を最小限に抑えながら、豊富なエネルギーを安全に生産できるようにしています。パブリック クラウドに展開されたアプリケーションやワークロードを保護することは、当社の最優先事項です。ゼットスケラーによってネットワークとセキュリティ スタックが刷新されたと同時に、環境の複雑さも軽減されたため、大きなメリットを実感しています。引き続きゼットスケラーのテクノロジーを採用して、マルチクラウド環境全体でワークロードを保護し、クラウドのセキュリティを変革していきます」



Zscaler Workload Communications に追加された次の機能により、運用の複雑さが解消されるほか、セキュリティの向上とクラウド カバレッジの拡大が可能になります。

- **ユーザー定義タグを使用したワークロード セグメンテーション:** ユーザー定義タグとネイティブ属性に基づいて、AWS でカスタム セキュリティ グループを独自に作成できます。AWS が設定しているタグの最大数をサポートすることで、組織はパブリック クラウド内の VPC またはネットワーク セグメンテーションに既存のワークロード ID を活用し、IP アドレス、FQDN、CIDR ブロックに基づいたセキュリティ ポリシーの管理に伴う運用の複雑さを解消できます。
- **リアルタイムのリソース検出:** カスタム グループを有効にすることで、AWS とネイティブに統合されたゼットスケラーが VPC、サブネット、EC2 リソース、およびそれらに関連するタグや属性をリアルタイムで自動検出します。企業はクラウドの属性に基づいてセキュリティ定義を簡単に統合できるようになるため、手動で構成する必要がなくなります。
- **マルチセッション VDI セキュリティ:** 業界初の試みとして、パブリック クラウドに展開されたマルチセッションの非永続的 VDI 環境のポートとプロトコルをすべて検査します。企業は個々のユーザー セッションごとにきめ細かな脅威対策とデータ保護のポリシーを適用できるようになり、あらゆる環境にわたって共通のセキュリティ ポリシーを維持できます。
- **クラウド カバレッジの拡大:** Zscaler Workload Communications は Google Cloud Platform (GCP)に加えて、FedRAMP 認定を受けた Azure の中国リージョンと AWS GovCloud をサポートするようになりました。AWS、Azure、そして今回拡張されたクラウド サポートにより、企業はパブリック クラウドを柔軟に選択しながら、クラウド ワークロードを一貫して効果的に保護できます。

ゼットスケラーのシニア バイス プレジデント兼ゼネラル マネージャーであるダワール・シャルマ (Dhawal Sharma)は次のように述べています。「多くの組織がパブリック クラウド インフラの導入を進めるにつれ、クラウドのワークロードとアプリケーションを保護するシンプルで効果的なクラウド セキュリティプラットフォームが必要とされています。仮想ネットワークやセキュリティ アプライアンスで構築されたレガシー アーキテクチャーや、データセンターへのトラフィックのバックホールでは、一貫したサイバーセキュリティを実現できないばかりか、運用の複雑さとコストを増大させます。今回の新たなイノベーションはクラウド ワークロードの接続を根本的に簡素化し、TLS インスペクション、データ保護、セグメンテーションなどのサイバーセキュリティをクラウドならではのスケールとスピードで提供します。これにより、お客様は Zscaler Zero Trust Exchange プラットフォームを使用して、マルチクラウド、ハイブリッドクラウド、プライベートクラウド、Government Cloud、そして中国などのアベイラビリティリージョン全体でワークロードを接続して保護できるようになります」

新しいイノベーションの詳細については、こちらのブログ「[クラウド ワークロード セキュリティを根本的に簡素化する新たなゼロトラスト イノベーション](#)」をご確認ください。



### ◇将来の見通しに関する記述

本プレスリリースには、当社の経営陣の判断や仮定、および現在入手可能な情報に基づく将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述には、ゼットスケーラーの将来の経常収益に期待されるプラットフォームの開発と拡張能力に対する潜在的な影響が含まれます。これらの将来の見通しに関する記述は、1995年米国民事証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)によって制定されたセーフハーバー条項の対象となります。多くの要因により、実際の結果が本プレスリリースの記述と大きく異なる可能性があります。

その他のリスクと不確実性については、2023年3月8日に米国証券取引委員会(SEC)に提出した最新の年次報告書(Form 10-Q)に記載されており、当社のWebサイト(<http://ir.zscaler.com>)またはSECのWebサイト([www.sec.gov](http://www.sec.gov))で確認できます。本リリースの将来の見通しに関する記述は、本リリースの日付の時点で入手可能な情報に基づいており、変更される可能性があります。また、将来新しい情報が利用可能になった場合でも、ゼットスケーラーは必ずしも情報を更新するものではありません。

### ◇ゼットスケーラーについて

ゼットスケーラー(NASDAQ: ZS)は、より効率的で、俊敏性や回復性に優れたセキュアなデジタルトランスフォーメーションを加速しています。Zscaler Zero Trust Exchange™は、ユーザー、デバイス、アプリケーションをどこからでも安全に接続させることで、数多くのお客様をサイバー攻撃や情報漏洩から保護しています。世界150拠点以上のデータセンターに分散されたSSEベースのZero Trust Exchange™は、世界最大のインライン型クラウドセキュリティプラットフォームです。

Zscaler™および <https://www.zscaler.jp/legal/trademarks> に記載されたその他の商標は、米国および/または各国のZscaler, Inc.における(i)登録商標またはサービスマーク、(ii)商標またはサービスマークです。その他の商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

Zscaler ホームページ : <https://www.zscaler.jp/>

Zscaler Zero Trust Exchange : <https://www.zscaler.jp/platform/zero-trust-exchange>